

特別インタビュー

DIY女子の頭の中



共通点は粘り強さ 旺盛な好奇心も特徴

自分で棚を作ったり壁を塗装する「DIY女子」という呼び名が世間を賑わせても、出費と労力を犠牲にしてまでこだわる彼女たちの行動に、いまひとつ共感できない不動産会社や家主は多いはずだ。何が彼女たちを動かすのか。DIY女子二人の自宅に上がり、話を聞いた。

大阪支社発 特集

借り手が改装できるロイヤ可能賃貸



▶LDK、右側スーをアトリ工して使いたい。床は自分で施工。コンクリートのき出しの壁天井はそれから手を加える。

「LDK、右側スーをアトリ工して使いたい。床は自分で施工。コンクリートのき出しの壁天井はそれから手を加える。」
（京都市・LDK、地下鉄烏丸線北山駅から徒歩15分ほど）

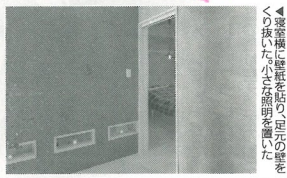
打ち合わせに8カ月 アトリ工確保に妥協せず

美術家で個展等を開いている川上幸子さん（京都市・D）も生粋のDIY女子。彼女が改装可能な物件を求めているのは、アトリ工の確保が目的だった。作品を制作でき、



美術家 川上幸子さん

「私は床と壁などの内装仕上げを担当しました。不動産会社（ラッシュ）との打ち合わせに6回、期間でいうと8カ月も要しました。互いの理解が深まり、完成度は高いです」
床は石目調のPタイルですね。



▼塗装後に壁紙を貼り足元の壁をくり抜いた小さな飾棚を置いた。

「そうですね。壁はここから手を加えます。LDKや寝室など用途に合わせたモルタルや塗料で仕上げます。打ち合わせに時間をかけたのは、スケルトン状態からリノベーションをしたかったからです。下地や設備などは事業者にお任せました」
— 施工も大変です。
— 苦労したのは素材の選定です。目を通したカタログは20冊以上。大阪や京都のショールームへ足を運びました。材料費

「どうしても広いアトリ工が欲しく。その上自分でデザインを決められるなら、とごんごん追っかけてきた。芸人でも多いです。そういう人、手頃な空き家を見かけると、大家さんを探します。『改装できますよ。安く貸してください』と。それだけを知っています」
— 意外と需要がある。
「周りに改装可能物件がないのが残念です。私もネットで検索かけて再三探しましたが、苦別しました。今の住まいに巡り合えて良かったです」